

2009年2月6日

**2009年(平成21年)3月期
第3四半期累計期間
(2008年4～12月)
決算説明資料**

東レ株式会社

I. 2009年3月期第3四半期累計期間

(2008年4～12月)決算概要(連結)

- ・連結業績の概要(収益) (P4)
- ・営業外収支 (P5)
- ・特別損益 (P6)
- ・連結業績の概要(財政状態) (P7)
- ・設備投資額・減価償却費 (P8)
- ・事業セグメント別業績 (P9-15)
- ・営業利益増減要因分析(第3四半期累計) (P16)

II. 2009年3月期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P18)
- ・事業セグメント別業績見通し (P19)
- ・経営環境悪化への対応 (P20)
- ・全社総合対策の推進 (P21)

**I . 2009年3月期第3四半期
累計期間(2008年4～12月)
決算概要(連結)**

連結業績の概要(収益)

Innovation by Chemistry

億円

	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上高	12,075	11,690	-385 (-3.2%)
売上原価	9,702	9,514	-188 (-1.9%)
売上総利益	2,373	2,176	-197 (-8.3%)
(売上高総利益率)	19.7%	18.6%	-1.0 ポイント
販売費及び 一般管理費	1,740	1,745	+5 (+0.3%)
(売上高販管費比率)	14.4%	14.9%	+0.5 ポイント
営業利益	633	431	-202 (-31.9%)
(売上高営業利益率)	5.2%	3.7%	-1.6 ポイント
営業外収支	▲ 42	▲ 95	-53
経常利益	592	336	-255 (-43.1%)
特別損益	▲ 44	▲ 182	-138
税前利益	548	154	-393 (-71.8%)
四半期純利益	320	55	-265 (-82.9%)

為替レート

<円/US\$>

(08/3 3Q累計)→(09/3 3Q累計)

期中平均 : 117.3 → 102.8

期末 : 114.2 → 91.0

<円/ユーロ>

(08/3 3Q累計)→(09/3 3Q累計)

期中平均 : 162.8 → 150.7

期末 : 166.7 → 128.0

原油価格

<US\$/バレル>(DUBAI FOB)

(08/3 3Q累計)→(09/3 3Q累計)

期中平均 : 72.5 → 94.3

(注)3月期決算会社は4~12月の業績、12月期決算会社は1~9月の業績を連結

営業外収支

億円

	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
営業外収益	130	96	-34	
受取利息及び配当金	36	33	-3	
持分法による投資利益	51	25	-26	
雑収入	43	37	-6	
営業外費用	▲ 172	▲ 191	-19	
支払利息	▲ 85	▲ 88	-3	
雑損失	▲ 87	▲ 103	-16	
営業外収支	▲ 42	▲ 95	-53	
金融収支	▲ 49	▲ 54	-5	
雑収支	▲ 44	▲ 66	-22	

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
特別利益	51	23	-29	
有形固定資産売却益	4	6	+2	
投資有価証券売却益	20	17	-3	
その他	28	-	-28	
特別損失	▲ 95	▲ 205	-109	
有形固定資産処分損	▲ 36	▲ 33	+4	
減損損失	▲ 47	-	+47	
投資有価証券評価損	▲ 1	▲ 101	-100	
関係会社事業損失	▲ 0	▲ 52	-52	子会社の整理・統廃合に伴う損失
たな卸資産評価損	-	▲ 12	-12	会計基準の変更に伴うもの
その他	▲ 11	▲ 7	+4	
ネット特別損益	▲ 44	▲ 182	-138	

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

連結業績の概要(財政状態)



Innovation by Chemistry

億円

	08年3月末	08年12月末	増減	特記事項	<ご参考> 08年9月末
資産合計	16,982	16,421	-562		16,902
流動資産	7,332	7,404	+72	たな卸資産の増加等	7,508
有形固定資産	6,810	6,407	-403	為替換算の影響等	6,665
無形固定資産	149	110	-39		114
投資その他	2,692	2,500	-192		2,615

	08年3月末	08年12月末	増減	特記事項	<ご参考> 08年9月末
負債合計	10,561	10,743	+183		10,753
流動負債	5,449	5,525	+75		5,483
固定負債	5,111	5,219	+108	長期借入金の増加等	5,271
純資産合計	6,422	5,677	-745		6,148
有利子負債残高*1	5,912	6,840	+928		6,500
D/Eレシオ*2	1.00	1.31	+0.32		1.15

注) *1 08年12月末はリース債務を含む、*2 有利子負債残高/自己資本(=純資産-少数株主持分)

<フリー・キャッシュ・フローの状況> 億円

	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)
営業活動	▲11
投資活動	▲898
フリー・キャッシュ・フロー	▲909

設備投資額・減価償却費

億円

	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	992	672	-319	東レ:298、国内:69、海外:305
減価償却費 ー)	638	627	-11	東レ:298、国内:88、海外:242
振替・除却等	▲ 49	▲ 448	-399	
有形固定資産増減	305	▲ 403		

主な設備投資：

- <国内> 東レ : 炭素繊維設備(石川)
- <海外> SOFICAR : 炭素繊維設備(フランス)
- CFA : 炭素繊維設備(米国)

事業セグメント別業績(売上高／営業利益)

TORAY

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益		
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	4,851	4,522	-329 (-6.8%)	147	99	-48 (-32.6%)
プラスチック・ケミカル	3,023	3,163	+139 (+4.6%)	135	108	-27 (-20.2%)
情報通信材料・機器	2,072	1,874	-197 (-9.5%)	170	128	-42 (-24.8%)
炭素繊維複合材料	610	550	-60 (-9.8%)	126	87	-39 (-31.1%)
環境・エンジニアリング	1,045	1,108	+62 (+6.0%)	42	4	-38 (-90.9%)
ライフサイエンスその他	473	472	-1 (-0.1%)	29	9	-20 (-68.7%)
(内医薬・医療材)	334	340	+6 (+1.8%)	7	▲ 11	-17 (-)
計	12,075	11,690	-385 (-3.2%)	649	434	-215 (-33.1%)
消去又は全社				▲ 15	▲ 3	+13
連結	12,075	11,690	-385 (-3.2%)	633	431	-202 (-31.9%)

事業セグメント別業績(繊維)



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レ	922	807	-115 (-12.5%)	31	▲ 6	-37 (-)	第2四半期までの原燃料価格上昇によるコストアップに対して価格転嫁を進めるも、衣料品需要の不振や、自動車用途を中心とした10月以降の産業用途の需要減少による販売量減少の影響が大きく、減収減益。
国内	2,333	2,190	-143 (-6.1%)	71	62	-9 (-13.1%)	一部の商事子会社では大手SPA向け縫製品の売上を拡大したが、全体では国内外の需要不振の影響を受け、減収減益。
海外	1,596	1,525	-71 (-4.5%)	50	40	-10 (-20.7%)	欧州のステッド調人工皮革事業やタイのエアバッグ用ナイロン糸・基布事業などが第2四半期までは堅調に推移するも、アメリカ向け輸出が鈍化した中国において現地子会社の業況が低調に推移。第3四半期から景気悪化の影響が各地域の事業に広がり、減収減益。
修正				▲ 5	3	+9	
計	4,851	4,522	-329 (-6.8%)	147	99	-48 (-32.6%)	

<主要関係会社>

国内：東レインターナショナル、一村産業、蝶理 他

アジア：PENFABRIC(マレーシア)、LUCKYTEX(タイ)、ITS(インドネシア)、TFNL(中国) 他

欧米：ALCANTARA(イタリア) 他

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レ	666	651	-15 (-2.3%)	10	▲ 15	-25 (-)	樹脂事業では、第2四半期まで堅調に推移した自動車、電機・電子用途も10月以降は世界的な景気悪化を背景とした需要減少で販売量が減少。フィルム事業では、太陽電池用途で売上を伸ばしたものの、その他の用途では10月以降の世界的な景気悪化の影響を受け出荷が低調に推移。第2四半期までの原燃料価格高騰の影響もあり、減収減益。
国内	1,057	1,149	+92 (+8.8%)	76	80	+3 (+4.3%)	第2四半期までファインケミカル子会社が堅調に推移したことや、商事子会社が取扱高を拡大させたこと等により、増収増益。
海外	1,300	1,362	+62 (+4.8%)	48	39	-9 (-18.4%)	米国と韓国のフィルム子会社が堅調。一方、マレーシアの樹脂子会社は、ABS樹脂の増設設備が稼働を開始し、売上を伸ばすも第2四半期までの原燃料コスト上昇分を転嫁しきれず。また、欧州フィルム子会社では欧州市場での競争激化による販売価格の低下等もあり、海外全体では、増収減益。
修正				1	4	+3	
計	3,023	3,163	+139 (+4.6%)	135	108	-27 (-20.2%)	

<主要関係会社>

国内： 東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他

海外： TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

事業セグメント別業績(情報通信材料・機器) **TORAY** Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レ	851	814	-37 (-4.4%)	84	53	-31 (-36.5%)	半導体コーティング材料や液晶材料、PDP材料が第2四半期まで堅調に推移するも、10月以降、フラットパネルディスプレイや半導体・電子部品業界における生産調整の影響を受けてほとんどの製品で販売量が減少し、減収減益。
国内	636	530	-106 (-16.6%)	54	44	-11 (-20.0%)	IT関連の機器子会社が液晶関連製造装置の売上を伸ばしたが、商事子会社の取扱高の減少や、液晶パネルの生産調整の影響を受けたフィルム加工子会社の販売量減少の影響が大きく、減収減益。
海外	585	531	-54 (-9.3%)	29	29	-0 (-1.7%)	韓国のフィルム子会社や回路材料子会社が競争激化による販売価格低下の影響を受けたことなどにより減収となるも、回路材料子会社が数量を伸ばしたことで利益は昨年並みを確保。
修正				2	2	-0	
計	2,072	1,874	-197 (-9.5%)	170	128	-42 (-24.8%)	

<主要関係会社>

国内： 東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他

海外： TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国)、STEMCO(韓国) 他

事業セグメント別業績(炭素繊維複合材料)



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レ	558	396	-162 (-29.0%)	52	27	-25 (-48.5%)	スポーツ用途の需要が減少したことに加え、一般産業用途では自動車関連用途やパソコン筐体の落込み、航空機用途もボーイング社向けの引取り遅れの影響を受けたことで減収。また、原燃料価格高騰の影響や円高による輸出採算の悪化、新規設備の償却負担増の影響などにより、減益。
国内	364	298	-66 (-18.2%)	4	2	-2 (-43.4%)	
海外	515	476	-39 (-7.5%)	71	50	-21 (-29.8%)	ボーイング社向けの引取り遅れや円高・原燃料価格高騰の影響もあり、減収減益。
修正	▲ 827	▲ 619	+207	▲ 1	8	+9	
計	610	550	-60 (-9.8%)	126	87	-39 (-31.1%)	

＜主要関係会社＞

国内：東レインターナショナル

海外：SOFICAR(フランス)、CFA(アメリカ)、TCA(アメリカ)

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

TORAY

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レ	59	58	-1 (-2.0%)	▲ 3	▲ 17	-14 (-)	RO膜やMBRが欧米・中東を中心に順調に受注を拡大し、家庭用浄水器の国内販売も堅調に推移したが、円高による輸出の手取り減少に加え、事業拡大に伴う費用増もあり、売上高はほぼ横這いとなるも、減益。
国内	976	1,028	+51 (+5.2%)	49	23	-26 (-53.6%)	商事子会社の機械輸出取扱高が第2四半期まで堅調に推移したこともあり増収となるも、水処理エンジニアリング子会社の採算悪化や、エンジニアリング子会社が設備投資の冷え込みの影響で産業機器等の販売を減少させたこと等により、減益。
海外	9	22	+12 (+130.2%)	▲ 4	▲ 5	-1 (-)	米国の水処理関連子会社が売上を伸ばしたが、事業の立ち上げに伴う先行費用増もあり、増収減益。
修正				▲ 1	2	+3	
計	1,045	1,108	+62 (+6.0%)	42	4	-38 (-90.9%)	

<主要関係会社>

国内： 東レ建設、東レエンジニアリング、東レACE、水道機工 他

事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)

Innovation by Chemistry

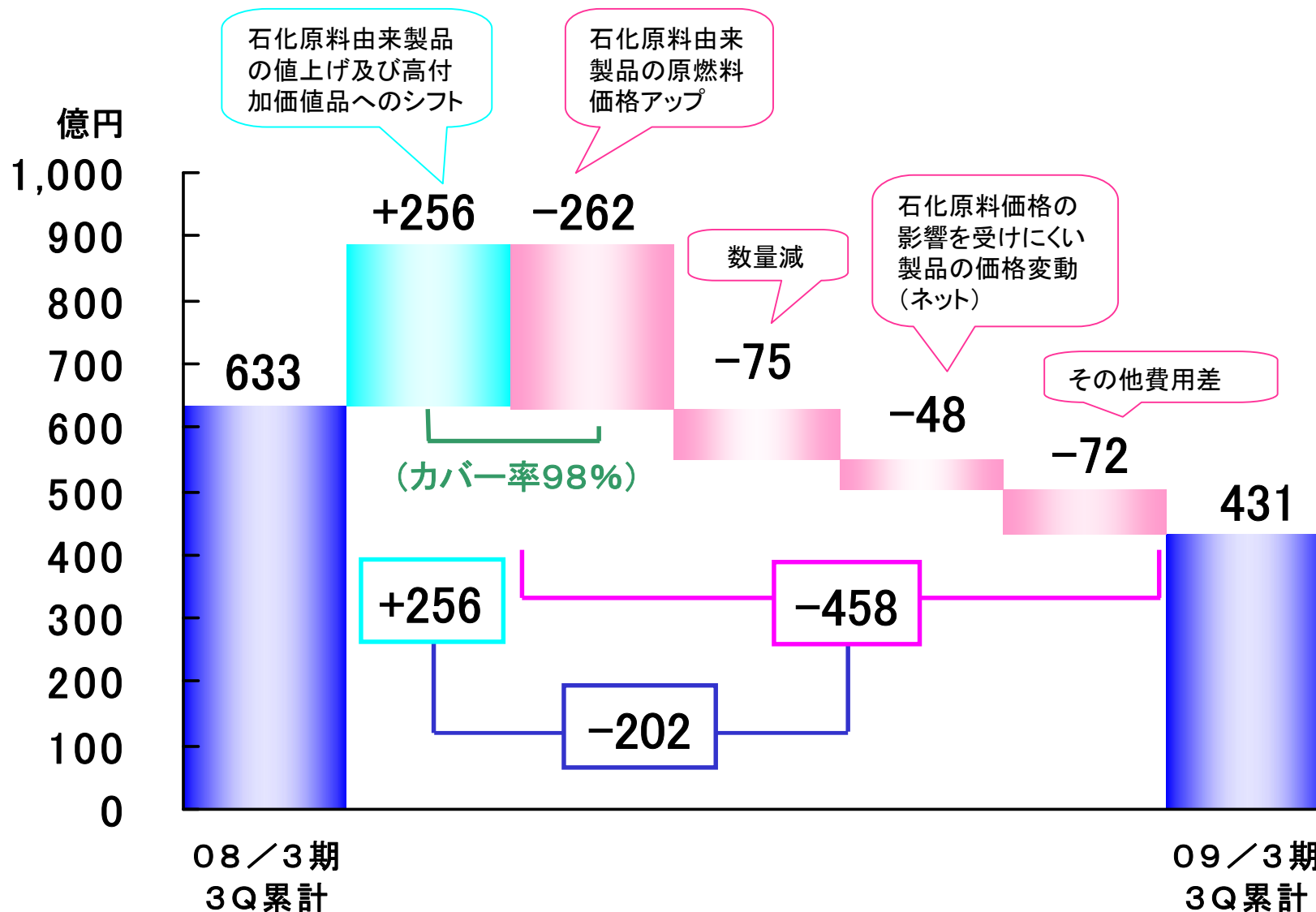
億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	08年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レ	67	63	-4 (-6.3%)	▲ 3	▲ 17	-15 (-)	医薬・医療材 薬価および償還価格の改定による販売価格下落や競争激化など厳しい事業環境の中、人工腎臓が販売量を伸ばし、医薬・医療材事業全体では増収となるも、販売価格下落の影響により、減益。 その他 商事子会社が低調に推移したことに加え、分析サービス子会社の半導体分野での受注減等により、減収減益。
国内	395	393	-1 (-0.3%)	28	20	-9 (-29.9%)	
海外	11	16	+5 (+46.1%)	1	2	+0 (+20.9%)	
修正				2	5	+3	
計	473	472	-1 (-0.1%)	29	9	-20 (-68.7%)	
(内医薬・医療材)	334	340	+6 (+1.8%)	7	▲ 11	-17 (-)	

<主要関係会社>

国内：東レ・メディカル、東レリサーチセンター、東レエンタープライズ 他

営業利益増減要因分析(第3四半期累計)



Ⅱ. 2009年3月期 通期業績見通し (連結)

連結業績見通し

TORAY

Innovation by Chemistry

単位：億円

		08年3月期 実績	09年3月期 前回見通し	09年3月期 今回見通し	対前年比増減	09年3月期 前回見通し との差異
売上高	上期	8,023	8,009	8,009	-15 (-0.2%)	—
	下期	8,473	8,991	6,991	-1,482 (-17.5%)	-2,000
	通期	16,497	17,000	15,000	-1,497 (-9.1%)	-2,000
営業利益	上期	440	303	303	-137 (-31.2%)	—
	下期	594	447	77	-517 (-87.0%)	-370
	通期	1,034	750	380	-654 (-63.3%)	-370
経常利益	上期	419	275	275	-144 (-34.3%)	—
	下期	496	425	▲ 65	-561 (-)	-490
	通期	915	700	210	-705 (-77.0%)	-490
当期純利益	上期	230	105	105	-125 (-54.2%)	—
	下期	251	195	▲ 265	-516 (-)	-460
	通期	481	300	▲ 160	-641 (-)	-460

1株当たり 当期純利益	上期	16.4円	7.5円	7.5円
	下期	17.9円	13.9円	▲18.9円
	通期	34.3円	21.4円	▲11.4円
1株当たり 配当金	上期	5.0円	5.0円	5.0円
	下期	5.0円	5.0円	2.5円
	通期	10.0円	10.0円	7.5円
配当性向	上期	30.4%	66.4%	66.4%
	下期	27.9%	35.9%	(-)
	通期	29.1%	46.7%	(-)

備考：為替レート的前提は、90円/US\$ (1月以降)
原油価格見通しは、45US\$/B(DUBAI FOB) (1月以降)

(注) 前回見通しとは2009年3月期第2四半期決算発表時(11月7日)の見通しです。

事業セグメント別業績見通し

TORAY

Innovation by Chemistry

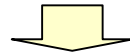
億円

	売上高			営業利益		
	08年 3月期	09年 3月期	増減 (%)	08年 3月期	09年 3月期	増減 (%)
繊維	6,373	5,700	-673 (-10.6%)	214	90	-124 (-57.8%)
プラスチック・ケミカル	4,040	3,900	-140 (-3.5%)	207	50	-157 (-75.9%)
情報通信材料・機器	2,837	2,400	-437 (-15.4%)	298	100	-198 (-66.4%)
炭素繊維複合材料	836	700	-136 (-16.2%)	181	100	-81 (-44.7%)
環境・エンジニアリング	1,732	1,650	-82 (-4.7%)	98	30	-68 (-69.2%)
ライフサイエンスその他	678	650	-28 (-4.1%)	63	30	-33 (-52.4%)
(内医薬・医療材)	484	460	-24 (-4.9%)	28	0	-28 (-)
計	16,497	15,000	-1,497 (-9.1%)	1,060	400	-660 (-62.3%)
消去又は全社				▲ 25	▲ 20	+5
連結	16,497	15,000	-1,497 (-9.1%)	1,034	380	-654 (-63.3%)

経営環境悪化への対応

〔経営環境に対する認識〕

金融市場の混乱に端を発した「信用収縮と景気悪化の負の連鎖」が進行
深刻な世界同時不況と言える状況



実体経済でも急激に需要が減少、回復まで一定の時間がかかると認識

〔経済危機克服のための主要課題〕

- ①トータルコスト削減
- ②需要の確保による収益極大化
- ③設備投資の徹底的圧縮と研究開発テーマの厳選
- ④在庫削減等による運転資本の圧縮

全社総合対策の推進

TORAY

Innovation by Chemistry

08年8月から経営環境悪化への対応策として、全社総合対策を開始
→事態の深刻化に応じて取り組みをさらに加速

2008年8月～

全社総合対策 (第1段階)

- ①費用削減の推進
- ②スプレッドの維持拡大
- ③設備投資
研究開発費
の抑制

2008年12月～

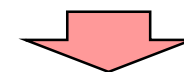
全社総合対策 (第2段階)

- 第1段階の取り組み
強化
- +
- ④減産による
在庫最適化

2009年2月～

全社総合対策 (第3段階)

- ①役員賞与ゼロ、役員報酬平均30%削減を
はじめ、あらゆる費用の削減への取り組み
- ②需要取り込みによる収益確保
- ③設備投資の徹底的圧縮と研究開発テーマ
の厳選
- ④減産による在庫削減



来年度も厳しい環境という前提のもとIT-2010の
数値目標を当面凍結するとともに、経済危機克服
のための全社プログラムを策定中。

本資料中の2009年3月期の業績見
通し及び事業計画についての記述は、
現時点における将来の経済環境予想
等の仮定に基づいています。
本資料において当社の将来の業績を
保証するものではありません。